

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	001 秘書業務										
予算科目	01-020103-11 秘書業務に要する経費					担当部課	市長公室秘書課				
市長公約							係名	秘書係・渉外係			
戦略プラン								新規・継続	継続		
								事業分類	自治事務（任意）		
								事業体制	職員のみ		
個別計画						事業期間		毎年度			
根拠法令等						SDGs		16平和と公正をすべての人に			
								17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	特別職（市長及び副市長）
目的	特別職（市長及び副市長）の公務等を円滑かつ効率的に遂行する。
概要 （取組内容）	特別職が出席する会議や催事等日程について調整及び事前確認を行い、必要に応じて随行する。 全日程関連資料を特別職へ事前に共有する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	8,127	9,208	10,229	10,572	10,572	
	決算額	(千円)	5,375	6,882	7,825	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,375	6,882	7,825	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	18,665	22,284	21,690	21,690	21,690	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.50	3.00	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	650.00	758.00	400.00	400.00	400.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		説明資料の早期提出を依頼するとともに、至急の案件は、飛び込み案件報告やLogoチャットでの報告を活用するなどしながら公務効率を高めた。
成果		説明資料を前日までに特別職に共有することで、会議等において限られた時間内で円滑な議論を行うことができた。
課題	業務	担当課からの至急の決裁依頼や報告調整が絶えず発生している。また、コロナ感染症が落ち着き、催事等が増えることで特別職のスケジュールが過密化傾向であり、執務時間(決裁等)や休憩時間の確保が難しい状況である。
	組織、予算等	公務が集中する時期は、随行・事前調査や資料の準備等により、職員の業務量が増加傾向にある。
改善目標		引き続き特別職への説明資料の早期提出を全庁に依頼するとともに、飛び込み案件報告やLogoチャット及びリモートワークの仕組みを有効活用しながら、特別職が円滑かつ効率的に業務を遂行できるよう日常的に配慮する。また、課内での情報共有を密にし、効率的に業務を行うことで業務量の増加に対応する。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	市が直接行う業務であるため、今後も継続していく。	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	002 市長車等特別職運転・管理業務																				
予算科目	01-020103-11					秘書業務に要する経費					担当部課	市長公室秘書課									
市長公約													係名	秘書係							
戦略プラン															新規・継続	継続					
															事業分類	自治事務（任意）					
															事業体制	職員のみ					
個別計画																事業期間	毎年度				
根拠法令等																SDGs	16平和と公正をすべての人に				
																	17パートナーシップで目標を達成しよう				

事業の概要

対象	特別職（市長及び副市長）
目的	特別職（市長及び副市長）のスケジュールの履行と安全な最適移動を行う。
概要 （取組内容）	市長車及び副市長車の運転・管理業務を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	326	57	61	79	79	
	決算額	(千円)	272	59	22	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	272	59	22	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,956	6,894	7,184	7,184	7,184	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	34.00	114.00	114.00	114.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		渋滞の発生する時間帯や地域への移動は、前もって道路状況の確認の上、時間に余裕を持って行動することとした。
成果		特別職の公務スケジュールどおりに、安全かつ迅速に移動することができた、
課題	業務	環境に配慮した水素自動車も公用車として配備しているが、燃料の水素を充填できる場所が1か所であることから、水素自動車の使用は主に市内公務となっている。
	組織、予算等	公用車について、特殊な車両であることから高額の修理が発生した場合の対応が課題である。
改善目標		渋滞が発生する遠方への移動は、道路状況を確認の上、時間に余裕を持って行動する。公用車の修理等については、必要に応じて公用車整備担当部署の協力のもと行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	ー

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	003 渉外業務（後援名義使用承認・叙勲・表彰事務）									
予算科目	01-020103-11 秘書業務に要する経費					担当部課	市長公室秘書課			
市長公約	9					係名	渉外係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	日本国憲法、茨城県表彰規則、つくば市名誉市民条例、つくば市表彰規則					SDGs	16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民等									
目的	後援による市民への信頼性の確保と公共の福祉の向上を図る。 叙勲・表彰は、地方自治の発展や文化の向上等に功績顕著な個人・団体を讃える。									
概要 （取組内容）	後援名義については、申請に対し審査の上、市以外が主催する事業において「つくば市」の名義使用を承認する。つくば市長賞については、申請に対し審査の上、賞状を交付する。 叙勲（叙位）については、地方自治に功労のあった公選職を対象に候補者を把握し、内申対象者が発生した場合は経歴・功績等を調査し、国・県に報告する。 社会の発展に著しい功績があり、市民の誇りとして等しく尊敬される者に対し、つくば市名誉市民の称号を贈り顕彰する。また、市民の生活と文化の向上に特に功績があったもの及び特に市民の模範となる行為があったものの事績をたたえ、功労表彰または善行表彰として表彰する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	270	466	715	771	771	
	決算額	(千円)	80	506	103	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	80	506	103	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,054	14,804	15,215	21,593	21,593	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	2.00	2.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	330.00	484.00	578.00	360.00	360.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	後援名義使用承認件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	221.0	66.0	111.0	142.0	177.0	0.0
	指標の概要	後援名義の使用申請があったものについて、使用を承認した件数					

2	指標名	名誉市民顕彰件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
	指標の概要	つくば市名誉市民として選定し、顕彰した件数					
3	指標名	市表彰件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	124.0	48.0	0.0
	指標の概要	市政功労者として表彰した件数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		後援名義については、申請事業が市の推進する事業に沿ったものか、聞き取りを行い詳細に確認した。 また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に合わせてガイドラインは廃止し、承認可否の決定までの事務の効率化と正確性確保のため、申請チェックリストを改善した。
成果		・後援名義の申請件数は増加し、新型コロナウイルス感染症前の件数に戻りつつある。 ・長きにわたり地域に貢献してきた方々の事績をたたえ、市政の発展に資することを目的として、市政功労者を選定し、つくば市民の日に表彰を行った。（今年度は名誉市民の内申は無かったため、名誉市民顕彰は無し）
課題	業務	名誉市民顕彰及び市政功労者表彰は、継続して行っていくにあたり、人数に応じた市民の日式典の内容、場所等について検討する必要がある。
	組織、予算等	式典の規模に応じて他課の応援人数を検討する必要がある。
改善目標		後援は、引き続き案件ごとに十分な審議を行いながら、受付後2週間以内を目安に承認の可否を決定する。 名誉市民顕彰及び市政功労者表彰は、検討が十分できるよう余裕を持ったスケジュールで事務を進める。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—